

テーマ 「南金沢地区13校人気本ランキング展示—どんな本読んでる？」

金沢学院大学附属高等学校 司書 釜谷 鮎美
石川県立金沢伏見高等学校 司書 吉本 寿記

1 はじめに

南金沢地区司書部会では、「生徒に読書や図書館に親しんでもらう」をテーマとして、これまで研修・研鑽を重ねてきました。

この研修目標である、図書館利用と貸出の増加、生徒の関心を引く積極的な読書活動の推進、展示スペースの活用法、長期間利用できる展示の実施などを意識し、取り組んでいます。

この取り組みには、図書館で楽しい展示を行い、生徒が「その先の一冊を見つける」ことを助長する目的もあります。

生徒の目を引き付け、本を手にする行動につなげ、知識を増やせるような展示を検討しました。しかし1年間という短い期間で実践するという課題もありました。

そこで今回は南金沢地区の各学校において、令和3年4月から9月の貸出ランキングを抽出し、すべての学校の人気本ランキングを公開するという新しい展示が提案されました。

他校の生徒がどんな本を読んでいるのかを知り、本を手にとってページを開いてみることから読書意欲を高め、本や作家を幅広く知ってもらうというのが狙いです。

2 実践の概要

(1) ランキングの抽出方法と取り決め

- ・ランキングで同率が多く並んだ場合は、司書の判断によって10冊程度にまとめる
- ・生徒以外に教職員の貸出も含めて統計する
- ・掲示の際は学校名を匿名にすることで、偏見のないように配慮する
- ・A4で作成した基本の展示用のランキングは各学校の掲示様式に合わせて自由にカスタムする
- ・実践期間は令和4年の1月頃の一か月間程度に定めて、結果を報告することとし、その後の

展示の継続は各校に任せる

(2) 各校の実践結果

- ・A校・F校・I校・J校では廊下掲示。生徒が関心を持って見ており、他校のランキングに興味がある様子だった。
- ・B校・D校・G校・H校では所蔵本と展示し、図書日より告知。数名展示していた本を借りて来た。
- ・C校では図書館前の展示棚に展示。その後館内に移して展示。生徒や教職員が一部を借りた。
- ・E校では図書館閲覧室入口横に掲示し、サイネージ(電光掲示板)にてPR。興味を示して見ている生徒がいた。
- ・K校では室内外に展示。興味を持って見ていた。

このように他校のランキングに興味を示す生徒や先生が見られ、面白い展示だという感想が聞かれました。そこから貸出にもつながったようです。

3 今後の課題

- ・告知の仕方は利用促進に欠かせないので、工夫をしていくこと
- ・それぞれの学校の展示に合わせて、今よりランキング表を見易くすること
- ・内容案内に「読んだ人の考えるキャッチコピー集」を載せるなど紹介文を工夫すること
- ・今後も定期的に情報交換してランキングを更新し、貸出の増加につなげていくこと
- ・この展示を通して、学校同士の交流なども考えていくこと

以上のことをふまえ、生徒がもっと本に興味・関心を持ち、読書意欲につながる展示を実践するため、司書同士で情報交換し、より充実させていきたいと考えています。